

給食会たより

令和3年度第2号
(公財)熊本市学校給食会
R3.5.31 文責：本郷

レイシ圃場視察

5月18日に天明地区にあるレイシ部会長の緒方さんのハウスを視察させていただきました。この圃場はもともと水田で地下水が豊富であり、冬でも土の温度が高いため、2月に苗を植え付けるレイシに適しています。苗は病気に強いカボチャの苗にレイシを接ぎ木したもので、親蔓を切り、子蔓の3本仕立てで伸ばすそうです。

ハウスの中は、1列に130本のレイシの木が左右から真ん中へ向かってアーチ形に伸びるよう誘導され、真ん中の部分は広く空間になっていました。蔓は長さが5～6m位になるので、蔓を這わせるための横線を何本も張ってありました。その横線の端はS字フックで支柱に固定してあり、生長するにつれてS字フックを根元の方へ移動させて、蔓全体をアコーディオンのようにたゆませ、花や実の部分我真ん中の空間を利用して十分に日が当たるようにしてありました。



【レイシのハウス】

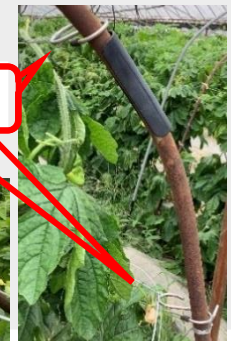


接ぎ木の部分

【3本仕立ての苗】



【蔓を這わせるための横線】



S字フック

【支柱にかけた
S字フック】

4月に開花すると、雄花を取って雌花に人工授粉します。授粉から2週間すると、実が30cm位になり、収穫となります。1本の苗から約50本のレイシが獲れ、色が薄い方が苦みが少なく、いぼがたくさんあって、張りや艶があるものがおいしいそうです。



【緒方さん】

レイシはどんどん生長するので、朝9時～12時までにはしなければならない交配の作業と、朝5時半から収穫する作業、10時半までに出荷する作業が重なる時期がたいへんだそうです。

最後に、緒方さんから「子どもたちには好き嫌いせず食べてほしいです。」というメッセージをいただきました。



【人工授粉】